

ローマ人への手紙 6章15～18節

クリスチャンとは、どの様な者たちなのでしょう

1. 罪 **ギ** ハマルティア 「的をはずす」

罪は、神への全き愛と神への完全な服従という神のみこころに沿った目標、またその基準に命中することに失敗することです。

エペソ2：1～3

あなたがたは自分の罪過と罪との中に死んでいた者であって、そのころは、それらの罪の中にあってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者として今も不従順の子らの中に働いている霊に従って、歩んでいました。私たちもみな、かつては不従順の子らの中にあって、自分の肉の欲の中に生き、肉と心の望むままを行い、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。

ガラテヤ5：19～21a

肉の行いは明白であって、次のようなものです。不品行、汚れ、好色、偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、ねたみ、酩酊、遊興、そういった類のものです。

ローマ3：10～12

義人はいない。ひとりもない。悟りのある人はいない。神を求める人はいない。すべての人が迷い出て、みな、ともに無益な者となった。善を行う人はいない。ひとりもない。

A. 罪の結果

神の怒りが下る。この神の怒りこそ永遠の死という神の刑罰なのです。

ローマ2：5

ところが、あなたは、かたくなさと悔い改めない心のゆえに、御怒りの日、すなわち、神の正しいさばきの現われる日の御怒りを自分のために積み上げているのです。

ローマ6：23a

罪から来る報酬は死です。

黙20：15

いのちの書に名のしるされていない者はみな、この火の池に投げ込まれた。

J.I.パッカーは「聖書は、すべての人間が自分の罪に対する贖いを必要としており、しかも自分で自分の罪を贖うための力も能力を完全に欠いている者である」と述べています。

2. 救い

罪人が救われるための救いは、イエス・キリストにのみそれを見出すことができます。

使4：12

この方以外には、だれによっても救いはありません。天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人に与えられていないからです。

エペソ2：3～5

私たちもみな、かつては不従順の子らの中にあって、自分の肉の欲の中に生き、肉と心の望むままを行い、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。しかし、あわれみ豊かな神は、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、罪過の中に死んでいたこの私たちをキリストとともに生かし、—あなたがたが救われたのは、ただ恵みによるのです—

A. 救いの本質

a. _____ です

ローマ1：1～4

神の福音のために選び分けられ、使徒として召されたキリスト・イエスのしもべパウロ、一この福音は、神がその預言者たちを通して、聖書において前から約束されたもので、御子に関することです。御子は、肉によればダビデの子孫として生まれ、聖い御霊によれば、死者の中からの復活により、大能によって公に神の御子として示された方、私たちの主イエス・キリストです。

神の福音は、御子に関することです。

1テモテ2：5～6

神は唯一です。また、神と人との間の仲介者も唯一であって、それは人としてのキリスト・イエスです。キリストは、すべての人の贖いの代価として、ご自身をお与えになりました。これが時至ってなされたあかしなのです。

b. 神は _____ を遣わしてくださいました

御子イエス・キリストがこの世に来られた目的は、私たちの罪を贖うためでした。

1ヨハネ4：10

私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。

ヨハネ3：17

神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。

ヘブル9：26b

しかしキリストは、ただ一度、今の世の終わりに、ご自身をいけにえとして罪を取り除くために、来られたのです。

c. 主イエス・キリストは、 _____ により、救いのための贖いのみわざを完了されました。

1コリント15:3～4

私があなたがたに最もたいせつなこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書の示すとおり、私たちの罪のために死なれたこと、また、葬られたこと、また、聖書の示すとおり、三日目によみがえられたこと、

エペソ2：8～9

あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。行いによるものではありません。だれも誇ることもないためです。

3. 救われた者の姿（ローマ6：15～18）

6：16では、当時の社会に存在していた奴隷たちの姿を通して、救われたクリスチャンの姿・立場を述べています。

◇ 奴隷 ギ デューロス

彼らは一人の主人の所有物です。

マタイ6：24a

だれも、ふたりの主人に仕えることはできません。
直訳：だれも、二人の主人の奴隷であることはできません。

マタイ6：24b

あなたがたは、神にも仕え、また富にも仕えるということはできません。

全ての人間は、罪の奴隷か神の奴隷かのどちらかに属しています。

a. 罪の奴隷とは、救われていない人たちの姿です。

ローマ6：23a

罪から来る報酬は死です。

b. 神の奴隷とは、救われた人たちの姿・立場です。

従順の奴隷、義の奴隷

ローマ6：22

しかし今は、罪から解放されて神の奴隷となり、聖潔に至る実を得たのです。その行き着く所は永遠のいのちです

ウィリアム・バークレー

「かつてあなたがたは罪の奴隷であった。罪はあなたがたを独占的に所有した。そのときあなたがたは、罪を犯すこと以外何も語ることができなかった。しかし今やあなたがたは、神を主人とした。神はあなたがたを独占的に所有しておられる。そして今やあなたがたは、罪を犯すことについて語ることもできない。あなたがたは聖なること以外、何も語ってはならない」とパウロは述べているのです。

6：17「神に感謝すべきことには」

神が私たちに愛とあわれみを示してくださった。

エペソ2：4～5

しかし、あわれみ豊かな神は、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、罪過の中に死んでいたこの私たちをキリストとともに生かし、—あなたがたが救われたのは、ただ恵みによるのです—

1ヨハネ4：9

神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。ここに、神の愛が私たちに示されたのです。

「伝えられた教えの基準に心から服従し」

パウロは1コリント15：1～4でこう述べています

兄弟たち。私は今、あなたがたに福音を知らせましょう。これは、私があなたがたに宣べ伝えたもので、あなたがたが受け入れ、また、それによって立っている福音です。また、もしあなたがたがよく考えもしないで信じたのでないなら、私の宣べ伝えたこの福音のことはしっかりと保っていれば、この福音によって救われるのです。私があなたがたに最もたいせつなこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書の示すとおり、私たちの罪のために死なれたこと、また、葬られたこと、また、聖書の示すとおり、三日目によみがえられたこと、

6：18「罪から解放されて、義の奴隷となった

受身・不定過去 受身・不定過去

(不定過去：過去のある時になされた一つの決定的行為を示し、現在もそれが継続していることを表わす)

ローマ6：6～8

私たちの古い人がキリストとともに十字架につけられたのは、罪のからだは滅びて、私たちがもはやこれからは罪の奴隷でなくなるためであることを、私たちは知っています。死んでしまった者は、罪から解放されているのです。もし私たちがキリストとともに死んだのであれば、キリストとともに生きることにもなる、と信じます。